

価値観・ビジネスモデル



セブン銀行のキセキ・・・	10
価値創造	17
セブン銀行が考える社会変化と課題解決に向けて	19
セブン銀行の主要パフォーマンス	25

セブン銀行のキセキ・・・

2001年の創業以来、
セブン銀行は「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」ご利用いただける
ATMサービスを提供してまいりました。
これからもお客さまのニーズにお応えする、既存の概念に捉われない
新たなサービスの創造に継続して取り組んでまいります。

お客さまの声を
ふまえて誕生

2001

セブン-イレブン店舗内にATMが誕生

「セブン-イレブンにATMがあったら便利なのに…」というお客さまの声が高まる



▲予備免許取得



▲ATMサービス開始セレモニー



▲第1世代ATM

凡例

- 内は：セブン銀行のサービス・商品
- 内は：社会の変化

新たな価値を生む サービス開発への 挑戦



◀第3世代ATM



▲新宿区歌舞伎町コーナー(内観)

偽造カードによる金融犯罪の増加

ATMでのICキャッシュカード対応開始
セブン銀行ICキャッシュカードを発行

地球温暖化防止、廃棄物削減に対する社会の要請

利便性と環境性能を追求した第3世代ATMを開発

2005

2007

2010

2011

海外発行のキャッシュ・クレジットカードサービスの対応を開始

音声ガイダンスサービスによるATM取引の実現

観光立国を政府が推進し訪日旅行者が増加
バリアフリーへの社会的要請



◀海外発行カード対応サービス開始セレモニー

海外送金サービス開始

在日外国人労働者の増加による送金ニーズの高まり

2015

2016

2017

2018

AIやIoTなど技術革新による急速な社会の変化
決済サービスの多種多様化

セブン・ラボによるオープンイノベーションの推進
デビット付きキャッシュカードを発行開始

金融犯罪防止への社会の要請

金融機関のマナー・ローンダリング対策のサポートを開始

ATM取引画面や明細票など12言語に対応

インバウンド市場の拡大



▲12言語対応画面

スマートフォンだけで入出金ができるサービスをリリース

米国セブン-イレブンに約8,000台のATM設置開始

スマートフォンの急速な普及
金融サービスのグローバル化

変化への対応

お客さまの声や社会の変化を捉えて、
挑戦を続けます

凡例

■内は：セブン銀行のサービス・商品

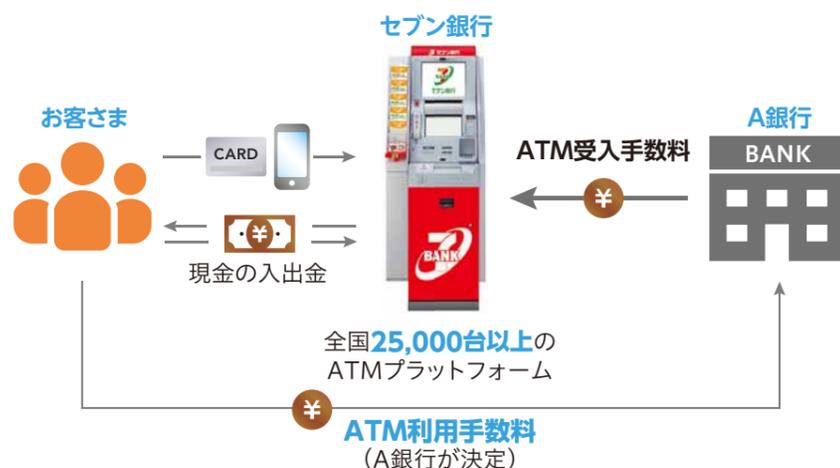
■内は：社会の変化

- 従来の銀行とは異なる収益構造：提携金融機関等からの手数料が中心
- 共存共栄のパートナー：
 - 提携金融機関等：615社（2019年3月末現在）
 - セブン銀行のビジネスを支える委託先

経営環境における優位性

- お客さまとの接点：
 - 全国**25,000**台以上のATMをプラットフォームとして、リアルなお客さまとの接点を有する
- セブン&アイグループが有する集客力や店舗網などのグループ力：
 - グループの各店舗へ1日当たり約**2,400**万人のお客さまが来店

ATMサービスのビジネスモデル（提携金融機関等が銀行の場合）



前例のない ビジネス

ATMサービスを
主軸とするユニークな
ビジネスモデルを構築

社会に 溶け込んだ サービス

「近くて便利」な
ATMサービスの拡充

「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」
ご利用いただける
ATMサービスをつくり上げてきました。

ATM設置台数	ATM年間総利用件数 [※]	提携金融機関等数
25,152 台	8.29 億 百万件	615 社
2018年度末	2018年度末	2018年度末

※ 利用件数：入金、出金、振込件数の合計。残高照会、電子マネーチャージ・残高確認、暗証番号変更、利用限度額変更は件数に含まず。

止まらないATM

- ATMの稼働率は、99.98%：
 - 委託先と協働し、「現金切れ」「障害発生」などを防ぎ、お客さまが必要としているときに「いつでも」安心してATMをご利用いただける態勢を構築しています。

多言語化対応：12言語

- 海外発行カードご利用時：
 - ATM画面・明細票の表示を日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語、マレーシア語、インドネシア語、ベトナム語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語から選択が可能です。



お客様の毎日の暮らしの中に新たな価値を提供します。

2,400万人※のお客さまへ ※セブン&アイグループの各店舗へ1日に来店されるお客さま数。

接点

商品

- 与信
- 投資
- 保険

お客さま接点の拡大とグループならではの商品開発を具体化

変化への対応と基本の徹底

「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」ご利用いただけるみんなのATMを追求します。

「より近くて便利な」金融サービスを

コンビニ店舗

レジ

ATM

- 収納代行(支払)
- ATM受取(現金受取)
- 入出金/振込
- 海外送金(振込)
- 個人向けローン
- 各種チャージサービス

多様化するお客さまニーズへの対応

価値創造

セブン銀行が大切にしている価値観は、持続可能な社会に向けた「社会課題解決への貢献」と「企業価値向上」の双方の達成に対して「誠実」かつ「真面目」に取り組む、「社会の期待と信頼」に応えていくことです。そのため2019年、セブン銀行では役職員全員参加で議論し、5つの「重点課題」を策定しました。この5つの「重点課題」を新たな判断基準・行動基準と位置付け、社会課題解決への貢献と持続的な企業価値の向上を目指した企業運営の羅針盤としていきます。

セブン銀行のコア・コンピタンスとビジネスモデル

競争優位の源泉となる経営資源・無形資産

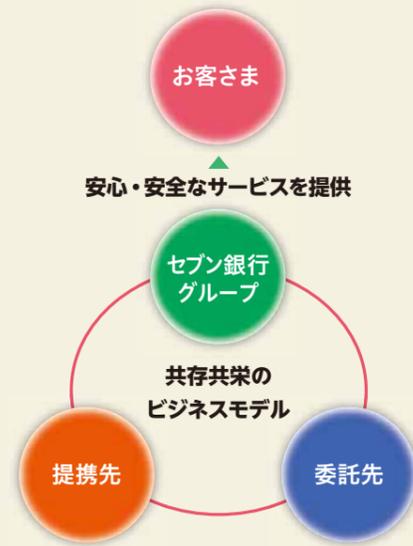
主要な経営資源

- ▶ **ATMプラットフォーム**
 - 全国25,000台以上のATMネットワーク
 - 原則24時間365日止まらないATMを実現するシステム・体制
- ▶ **提携金融機関等とのネットワーク**
- ▶ **セブン&アイグループ各店舗へ来店されるお客さま・店舗ネットワーク**
- ▶ **銀行としての金融サービス提供機能**

主要な無形資産

- ▶ **さまざまなパートナー企業との強い信頼関係**
- ▶ **セブン&アイグループとのシナジー**
- ▶ **銀行としての信用力**
- ▶ **チャレンジしやすい企業風土・組織**

セブン銀行のビジネスモデル



- ▶ **いつでも、どこでも、だれでも、安心してご利用いただけるATMサービス**
- ▶ **安全かつ効率的な決済インフラ**

社会課題・変化

- デジタル決済の拡大によるセキュリティへの不安
- 金融犯罪の高度化・巧妙化
- 金融窓口やATMの減少

- 価値観、ライフスタイルの多様化
- 金融商品へのニーズ変化

- ダイバーシティの推進
- 多様な人が多様な形で活躍できる社会

- 気候変動化リスクの増加
- 環境負荷軽減に向けた各企業の取組姿勢の変化

- 日本で働く外国籍人口の増加
- 外国人労働者の生活基盤に課題

重点課題

1 安心・安全な決済インフラの提供



2 新しい金融サービスを通じた生活創造



3 誰もが活躍できる社会づくり



4 環境負荷の低減



5 多文化共生の実現



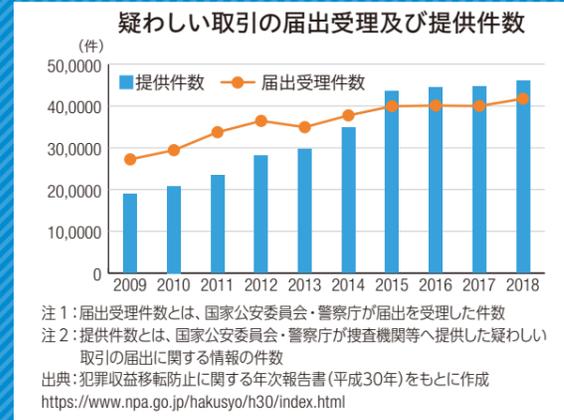
当社が持つ強みを活かした事業活動を通じ、社会課題解決への貢献と企業価値の向上の双方を達成

セブン銀行が考える社会変化と課題解決に向けて

価値創造への取組み
重点課題

1 安心・安全な決済インフラの提供

この重点課題に取り組むことで、セブン銀行は決済インフラの提供による安心・安全な社会基盤づくりを通じ、持続可能な開発目標(SDGs) 9 11 16 の達成に貢献します。



セブン銀行が考える社会の変化と課題

近年、日本の金融環境は大きく変化し、技術革新による様々なデジタル決済が拡大する一方で、高度化・巧妙化が進む金融犯罪やセキュリティへの不安が生じています。また、金融機関の窓口やATMの減少、多発する災害時における決済(現金不足)への不安も生じています。セブン銀行は、万全なセキュリティ体制と、災害などの緊急時でも安心してご利用いただける社会インフラとしての役割を担うことが重要だと考えます。

セブン銀行の変化と課題への姿勢

セブン銀行は、さまざまな新しい決済サービスに対して、創業より培ってきた知見を活かすとともに、技術革新の成果を積極的に取り入れ、安心かつ効率的な決済インフラを提供してまいります。加えて、金融機関をはじめとするステークホルダーとの協働により、時代の変化に則した、安心・安全な金融基盤を整備し、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

パートナー企業との連携

安全かつ効率的な警送・警備

ATM内現金を適切に保つためのモニタリング

故障・不具合等発生時のスピーディーな対応

安心・安全を追求したご利用環境の整備

原則24時間365日稼働率99.98%を支えるATMの保全

だれもが安心して使えるさまざまなATMの機能

金融犯罪を防ぐために

金融機関等のマネー・ローンダリング対策サポート

不正利用口座のモニタリング等による未然防止

不正検知ノウハウの蓄積

災害における対応

首都圏と大阪の機能二重化により災害時にも業務を継続

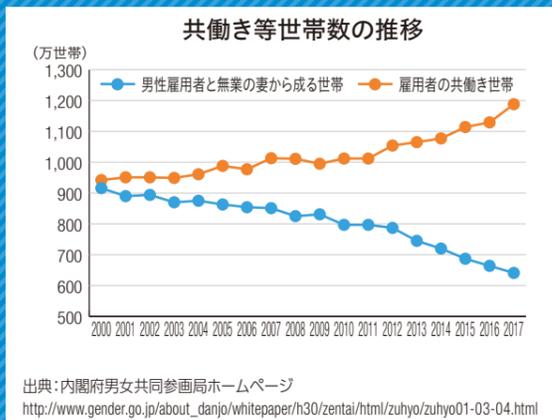
移動ATM車両の派遣

金融業界を横断した金融セキュリティの強化を推進

金融業界では、金融犯罪が増える傾向にある中、人手不足やセキュリティのコスト増により、態勢整備が大きな課題となっています。セブン銀行の決済口座事業で得た知見を活かし、連結子会社である株式会社バンク・ビジネスファクトリーでは、金融機関等10社以上から、マネー・ローンダリング対策業務を受託しています。

価値創造への取り組み
重点課題 **2** 新しい金融サービスを通じた生活創造

この重点課題に取り組むことで、セブン銀行はリアルな顧客接点を活かして、全ての人に価値のある金融サービスを提供し、持続可能な開発目標(SDGs) **8** **9** の達成に貢献します。



セブン銀行が考える社会の変化と課題

社会の変化・技術の進化により、お客さまの価値観・ライフスタイルは多様化し、「より近くて便利」な金融サービスが求められています。セブン銀行は、従来の概念にとらわれない金融サービスの革新と機会均等が必要であると考えています。

セブン銀行の変化と課題への姿勢

セブン銀行は、生活スタイルの多様化やシェアリングエコノミー等の普及も取込みながら、従来の概念にとらわれない新しい金融サービスを構築し、毎日の暮らしの中に時代の変化に即した新たな価値を提供していきます。



新たなATM利用スタイル

●
新たな決済分野を切り拓く
新決済事業者との提携推進

カードを使わずに入出金取引ができる
「スマホATMサービス」の提供

交通系電子マネー等の
チャージ取引の拡大

社会の変化、技術の進化に対応した便利で使いやすいサービス

●
働き方の多様化を金融面でサポートする
「リアルタイム振込機能」

口座を介さず現金を受取れる
「ATM受取(現金受取サービス)」

コンビニらしい
ユニークな金融サービス

●
セブン&アイグループや外部企業との連携も視野に入れた
与信・投資・保険等の
商品開発

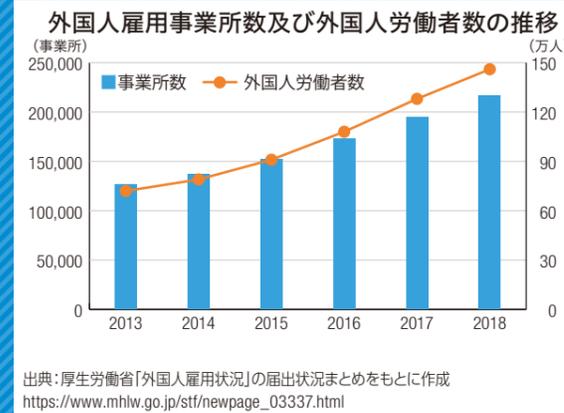
リアルタイム振込機能

提携先企業が行う各種振込について、外部サービス事業者との連携(API接続等)により、当社が振込指示を受けて即時振込を実行する機能。

働き方の多様化に伴い、給与即時払いや経費精算事業者が本サービスを利用することにより、従業員は当日働いた分の給与等をその日のうちに受取ることや、立替経費の即日精算が可能になります。

価値創造への取り組み 重点課題 5 多文化共生の実現

この重点課題に取り組むことで、セブン銀行は金融環境の整備による外国人活躍支援と、日本での生活関連の支援の強化により、持続可能な開発目標(SDGs) **8** **10** **11**の達成に貢献します。



セブン銀行が考える社会の変化と課題

社会・経済のグローバル化は進展し、日本を訪れる外国人、また日本で働く外国人は年々増加しています。国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築きながらともに生きていくことが必要であるとセブン銀行は考えます。

セブン銀行の変化と課題への姿勢

セブン銀行は、行政、企業、NPO、財団、有志団体など、立場の異なる組織が、組織の壁を越えてお互いの強みを出し合い、社会的課題の解決を目指すアプローチ(コレクティブ・インパクト)を通じ、金融サービスをはじめ、便利で快適な活動基盤を提供することにより、外国人の方の日本での豊かな暮らしを総合的にサポートしていきます。

多文化共生への取り組み

日本でお住まいになる外国人の方に金融サービスをはじめとした生活基盤をサポート

日本で働く外国人のお客さまに「海外送金サービス」

ATM、パソコン・スマートフォン等から原則24時間365日送金可能

9言語に対応した、ATM取引画面やカスタマーセンターにより言語の不安を解消

分かりやすいシンプルな手数料体系

日本に訪れた外国人のお客さまが海外発行カードで日本円を引出せるサービス

主要国際ブランドのほぼすべてに対応

12言語に対応したATM取引画面・明細票等安心してご利用いただける環境整備

コレクティブ・インパクトによって外国人の方の豊かな暮らしをサポート

行政
誰もが住みやすい街づくり

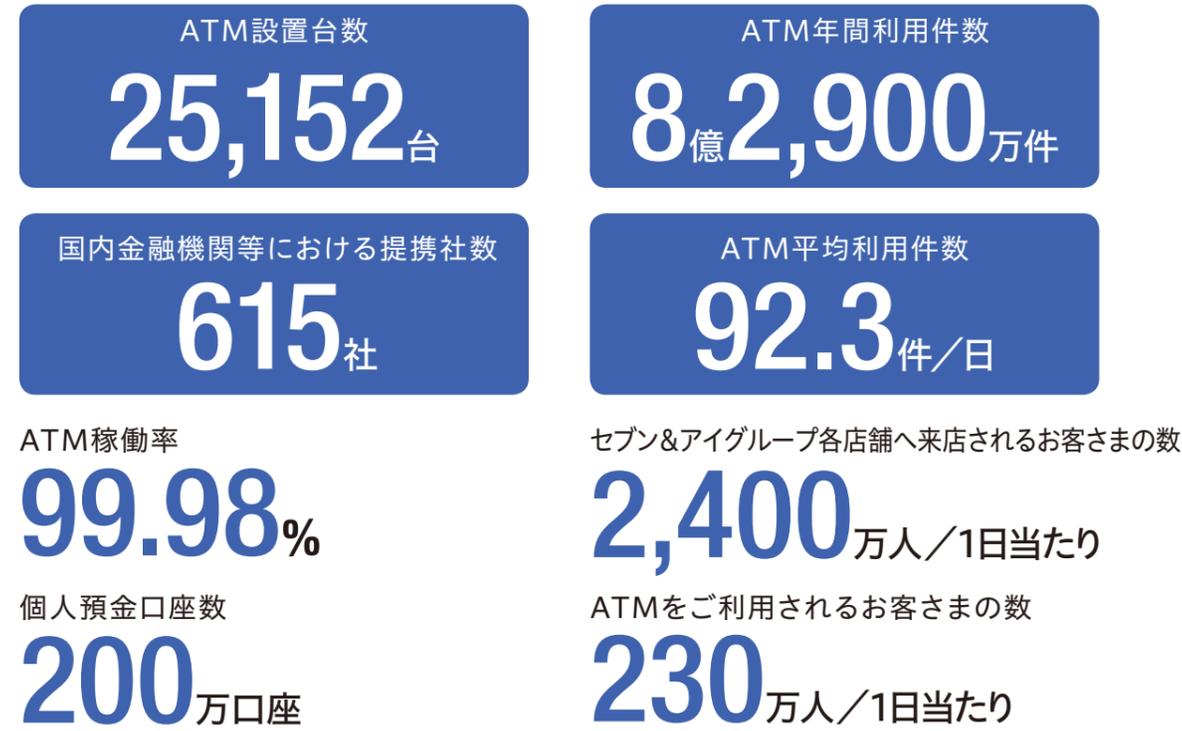
セブン銀行
金融サービスを通じた利便性向上

支援団体
外国人市民の地域参画

外国人雇用企業
外国人雇用のための環境づくり

セブン銀行の主要パフォーマンス

国内において圧倒的なシェアをもつATM



国籍問わず誰もが使いやすいシステム



多様な人財の活躍推進



持続可能な環境性能の追求(国内)



トップクラスの財務基盤



高い信用力

S&Pグローバル・レーティング

A+

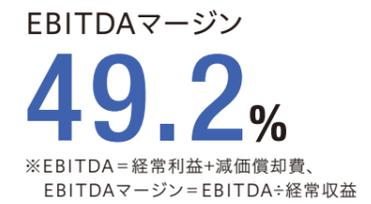
格付投資情報センター(R&I)

AA

株主への利益還元



キャッシュ創出力



高い成長性

